

伊達赤十字病院と住民の皆様を繋ぐ情報誌

2021年8月発行
伊達赤十字病院広報誌

だてクロス



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

伊達赤十字病院

総合病院伊達赤十字病院広報誌

<特集> 『婦人科系疾患 性器脱』

- ・ P 2～4 性器脱について 第一産婦人科部長 田熊直之、産婦人科医師 林 博章
- ・ P 5 新たに着任された先生方をご紹介します
- ・ P 6 地域医療連携室からのお知らせ
- ・ P 7 外来診療一覧

ご自由にお持ち
帰りください

Please take it home freely.

Vol.12



<特集>

『婦人科系疾患 性器脱』

『性器脱について』

ちょうど1年前に林Dr.が着任され、常勤医2名体制に戻った産婦人科です。林Dr.は私の10年先輩なので、計算上、平均年齢が還暦以上となったお爺ちゃんチームですが今後ともよろしく願い申し上げます。

今回は当医療圏でも患者数の多い性器脱がテーマで、手術を一手に引き受けている婦人科系（腫瘍系疾患）の第一人者である林Dr.に寄稿していただきました。

Doctor Profile

田熊 直之（たくま なおゆき）
第一産婦人科部長

林 博章（はやし ひろあき）
産婦人科医師

多くは「ピンポン玉の様なものを触れる」、「おしっこが近い」、「寝ていると大丈夫」、「長い間立っていると何か出てくる」、「夜は大丈夫」、「痛くないけど気持ち悪い」、「お風呂で触る」、「時々出血する」などの症状で泌尿器科か産婦人科を受診されます。80歳までに性器脱または尿失禁で外科的治療を受ける生涯リスクはおよそ10人に1人の割合です。また20歳から59歳までの女性の約30%、50歳代の女性の約55%、出産経験者の44%が、なんらかの骨盤臓器脱症状（上記の訴え・症状）を有しています。幸いなことに癌とかの悪性腫瘍ではないので、上記のような不快な症状の90%は医学的治療によって改善または治癒させることが可能です。

1 骨盤臓器脱とは？

骨盤にある臓器である子宮、膀胱、直腸などがだんだんと下がってきて、膣から体外に出てしまう病気をいいます。脱出する臓器により、子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤、小腸瘤、膣脱などに分類され、これらが単独または同時に出現してきます。このような状態を性器脱と総称することもあります。

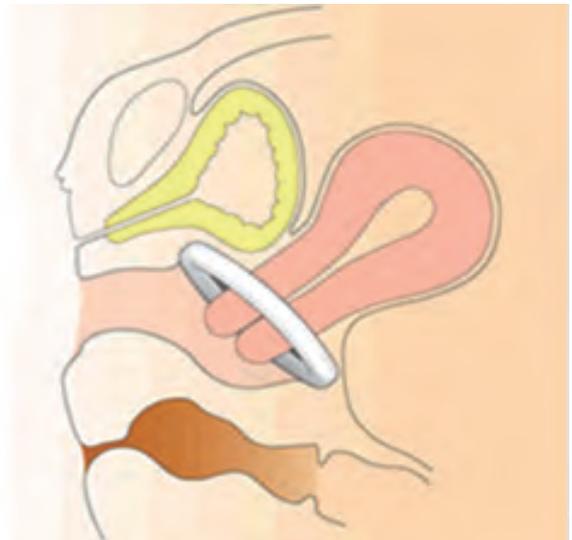


2 骨盤臓器脱の原因

骨盤の底には子宮、膀胱、直腸などの臓器を支えている筋肉や靭帯があり、腹圧により臓器が骨盤外に出ないように支えています。出産や年齢を重ねていくとこの支えがだんだんと緩み、子宮や膀胱、直腸などが骨盤の中から膣に下がってくるのです。進行すると膣壁が反転して膀胱、子宮、直腸が体外に完全に脱出してきます。リスクファクター（危険因子）として慢性的な咳や便秘を繰り返す方、仕事などでいつも重い荷物を持っている方、肥満体型の方なども腹圧がかかりやすいために骨盤臓器脱になりやすいといわれています。

3 保存的治療（手術以外の治療）

基本的に骨盤臓器脱には有効な薬はありません。行動療法、排尿訓練、Kegel体操、バイオフィードバック、電気刺激法などが多少の有効性があると言われていますが、現状では以下に紹介するリングペッサリーの膣内挿入が保存的治療の主体となっています。



症状が軽度の方や手術を受けられない方のために、対症療法としてリングペッサリーを図のように膣内に挿入する方法があります。ただしあくまで補助的な矯正器具なので根本的な治療法ではありません。体格や膣の状態に合わせてサイズを選びますが、患者さんによっては違和感を強く感じる場合があります。また膣の炎症をおこしやすく、出血やオリモノの増加がしばしばみられるので、1か月ごとの通院が必要です。（3～4ヶ月毎の定期的な交換が必要）。従って何らかの理由で手術を受けられない方や手術までの待機期間の方などに使用は限られます。

4 手術療法

骨盤臓器脱治療の原則は手術療法です。

質問1 手術療法の考え方は？

子宮、膀胱、直腸、小腸を支えている筋肉や靭帯が単独または複合して緩んでしまうことにより、それらが膣から脱出する病気なので、緩んだところをみつけて補強することが手術の基本となります。一般的に骨盤臓器脱の初期はどこかひとつの臓器が脱出てきますが、そこだけを補強すると（例えば膀胱）、術後に他の部位に負担がかかり、別の臓器（例えば直腸）が脱出することをしばしば経験します。そこで手術の際には骨盤底を形成する筋肉、筋膜、靭帯群をバランスよく修復することが大切です。

質問2 手術療法にはどんなものがありますか？

古くからさまざまな術式が工夫されてきました。現在は膣から子宮を摘出し、膀胱と膣の間の筋膜および直腸と膣を支える筋肉を補強する術式（膣式子宮全摘術＋前後膣壁形成術）が基本で、妊娠を希望する方には子宮を摘出しない手術が行われています。

質問3 膣式子宮全摘術＋前後膣壁縫縮術はどんな手術ですか？

膣から子宮を摘出し、膣と膀胱を支えている筋膜を縫縮、最後に直腸と膣を支えている筋肉（肛門挙筋）を補強する手術です。子宮を摘出するために子宮を支えている靭帯、筋膜を補強しやすいといった利点があります。膣壁以外には傷が残らないため美容上もすぐれていて、入院は約7日間程度です。

以上、林Dr.に寄稿していただきました。世界的には20年ほど前からメッシュ（網目状の布みたいなもの）を用いる術式が婦人科や泌尿器科でも導入され、最近ではTVM（テンションフリーの膣メッシュ）やLSC（腹腔鏡下仙骨膣固定術）などの術式が日本でも保険適応になってきました。しかしながらどの術式でも骨盤臓器脱は再発することがあります。手術時は布のように柔らかいメッシュですが、時間が経つとプラスチックのように硬くなるため、メッシュ術後の再手術（修復）はかなり難易度が高いと感じています。再発や長期的経過を踏まえて、当科では前記の昔から確立されている膣式子宮全摘術＋前後膣壁縫縮術を骨盤臓器脱治療の第一選択としています。

現在、伊達市は新型コロナワクチン優先接種中です。手術適応の患者さんは主にワクチン接種中の方が多いため手術延期になっていますが、なぜか6～8月は出産予定妊婦さんが多いのは不思議です。

新たに着任された先生方をご紹介します

- 1 生年月日、出身地等 2 出身大学 3 前任病院等 4 資格等 5 趣味特技等 6 ひとこと



健診部長 佐藤 正文 (さとう まさふみ)

- 1 昭和35年12月20日生まれ
- 2 北海道大学医学部
- 4 日本外科学会専門医、日本医師会認定産業医
- 5 最近、メダカにはまっています。
- 6 2年ぶりの復帰となりました。新型コロナウイルスのために病院の内外で様々な制約がありますが、一日も早く慣れて伊達日赤のために微力ながら尽くしたいと思います。



第二麻酔科部長 林 大 (はやし だい)

- 1 昭和51年12月19日生まれ、旭川市出身
- 2 旭川医科大学 3 淀川キリスト教病院
- 4 麻酔科専門医 5 フットサル
- 6 この度縁あって伊達赤十字病院で勤務させていただくことになりました。北海道各地で仕事をさせてもらいましたが、胆振地方は今回が初めてとなります。豊かな自然環境の中で働けることを楽しみに思っております。基本的には手術室での麻酔業務となるため皆さんと直接かかわることは少ないとは思いますが、今までの経験を活かして安全に手術が行えるよう努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお祈いします。



整形外科医師 高田 秀和 (たかだ ひでかず)

- 1 昭和48年5月7日生まれ、福島県出身
- 2 帝京大学医学部
- 3 北海道社会事業団岩内病院、朗愛会こが病院
- 4 日本整形外科学会員
- 5 トレーニング、映画鑑賞。特技は空手（全日本大会出場）
- 6 青森労災病院で7年間勤務後、都内・千葉県の病院で一般外傷と脊椎手術を担当してきました。患者様にわかりやすい説明と丁寧な治療を心がけていきたいと思っております。



消化器科医師 渡辺 大地 (わたなべ だいち)

- 1 平成3年8月23日生まれ、旭川市出身
- 2 札幌医科大学 札幌医科大学腫瘍内科
- 3 王子総合病院→製鉄記念室蘭病院→札幌医科大学附属病院
- 5 ドライブ、サイクリング
- 6 昨年度の大学病院以外は長らく胆振地方で勤務しており、またこの地方で働くことができうれしく思います。地域の皆様の健康に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



眼科医師 村上 卓 (むらかみ すぐる)

- 1 平成2年9月27日生まれ、札幌市出身
- 2 札幌医科大学医学部
- 3 市立室蘭総合病院
- 5 読書、旅行
- 6 地域の皆様のお力になれるよう尽力させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室からのお知らせ

伊達日赤から、近隣の医療機関様、各施設様への様々な情報をまとめてご紹介するページです。

新たに5名の医師が着任しました

● 整形外科：高田医師

当院整形外科は平成30年9月より常勤医が不在となり、皆様にご不便をおかけしておりました。この間JCHO登別病院のご協力のもと外来診療のみ継続してまいりましたが、本年4月に高田秀和（たかだ ひでかず）医師が着任し、入院や手術も行えるようになりました。夜間休日の救急外来での診療はしておりませんので、平日時間内の受診にご協力をお願いします。

● 麻酔科：林医師

当院麻酔科は長らく立川医師の一人体制でしたが、このたび林大（はやし だい）医師が着任いたしました。麻酔科医師が2名体制となったことで、午前中からの手術が可能となり患者様の負担が軽減されるようになりました。

● 眼科：村上医師

常勤医が不在だった眼科にも、7月から村上卓（むらかみ すぐる）医師が着任いたしました。患者様により安心して手術を受けていただけるようになりました。

● 健診部：佐藤医師

地域の皆様の健康保持のため、健診は大切な部門です。
現在は、コロナワクチン接種の為に、多くの市民の皆様に対応しています。

● 消化器科：渡辺医師

大岩医師に変わり着任いたしました。昨年度と変わらぬ、診療体制を維持しております。

精神神経科が 休診となりました

昭和32年に開設した精神神経科が常勤医師の退職に伴い、入院・外来共に令和3年3月をもって休診となりました。地域の皆様にはご不便をお掛けすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

もの忘れ外来のご案内

伊達赤十字病院は認知症疾患医療センターとして専門の医師が画像検査・心理検査・血液検査等を通じて認知症の鑑別診断をいたします。また、運転免許証更新時の認知症検査にも対応しておりますので、お気軽に医療相談室までお問合せ下さい。

禁煙外来休止のお知らせ

毎週金曜日に循環器科で行っていた禁煙外来は薬品の供給中止により新規の予約を休止しておりますのでお知らせいたします。診療再開の際はホームページや広報で周知させていただきます。

頭痛外来のご案内

頭痛でお困りの方、頭痛外来を受診してみませんか。完全予約制で地域医療連携室にて予約を承っております。



ストーマ外来のご案内

ストーマ（人工肛門）のある方のストーマの手入れや装具のアドバイスなどを行っています。皮膚のトラブルやもれ等お困り事はありませんか。外科外来で予約を受けております、どうぞご利用ください。

発熱相談

当院では感染対策の為に、発熱している方の院内立ち入りをお断りしています。発熱している方の受診の相談は事前に電話で承っております。ご相談の折は代表電話で「発熱相談」もしくはかかりつけの診療科でご相談ください。

外来診療一覽

		月	火	水	木	金
内科・総合内科	午前	宮崎	小柴	宮崎	小柴	宮崎 出張医 6日・20日
	午後	予約のみ	小野 13:00~15:00	予約のみ	予約のみ	小野 13:00~15:00
消化器科	午前	櫻井・渡辺	久居	櫻井・坂野	久居・渡辺	久居・坂野
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
緩和ケア外来<完全予約制>	午後	-	岡本(出張医) 14:00~16:00	-	-	-
神経内科	午前	松岡	松岡	井上(出張医)	松岡5日 安喰(出張医) 10:00~11:00 12日・19日・26日	松岡 佐久嶋(出張医) 6日・27日
	午後	<検査>	山田(出張医) (新患のみ) 13:00~15:00	-	松岡 12日・19日・26日	佐久嶋(出張医) 6日・27日
頭痛外来 <完全予約制>	午前	松岡(午前)	松岡(午前)	-	松岡 午前5日 午後12日・19日・26日	松岡(午前)
	午後					
もの忘れ外来 <完全予約制>	午前	-	-	-	-	佐久嶋(出張医) 6日・27日
	午後	-	-	-	-	15時迄(もの忘れ外来)
循環器科 <完全予約制>	午前	武智(予約のみ) 出張医	出張医	出張医	出張医	出張医
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
禁煙外来<完全予約制>	午後	-	-	-	-	-
小児科	午前	林英	林英	林英	林英	林英
	午後	田原(乳児健診) 13:00~15:00 林英(一般) 15:00~16:00	田原 予防接種のみ 13:30~15:30	林英(非感染症外来) 完全予約制 <検査・手術>	林英(非感染症外来) 完全予約制	林英 13:30~15:30
外科	午前	川崎・吉田	行部	川崎	行部	吉田
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
ストーマ外来 <完全予約制>	午後	-	行部 14:00~16:00 10日・24日	-	-	-
リンパ浮腫ケア外来 <完全予約制>私費診療	午後	-	-	認定看護師・看護師 13:30~16:00	-	-
整形外科<完全予約制>	午前	高田	江口(出張医)	高田	蛸原(出張医)	小澤(出張医)
産婦人科	午前	産科:田熊	産科:田熊	産科:林博	産科:鴨井 (出張医)	田熊/林博 交代診療 完全予約制
		婦人科:林博	婦人科:林博	婦人科:田熊	婦人科:田熊/林博 交代診療	
	午後	-	-	<手術>	<手術>	-
麻酔科	午前	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30	-	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
皮膚科	午前	-	出張医 受付11:00まで	-	出張医 受付11:00まで	出張医 受付11:00まで
耳鼻咽喉科	午前	長内	長内	長内	長内	長内
	午後	<検査・手術>	-	長内 13:30~15:30	<検査・手術>	長内 13:30~15:30
甲状腺専門外来<完全予約制>	午後	-	-	長内 13:30~15:30	-	長内 13:30~15:30
眼科	午前	村上	村上	村上	-	村上
	午後	<手術>	<検査>	<検査>	<手術>	<検査>

◆この一覽は毎月初めと診療体制が変わった時に随時更新しております。ホームページでもご確認できます。(https://date.jrc.or.jp/)

◆午前の受付時間は8時25分~11時、午後の受付時間は12時45分~です。詳細につきましては、電話等にてご確認ください。

◆診療開始時間は科・医師・曜日等により異なります。また、一覽に記載されていても都合により休診・代診となることがございます。

◆頭痛外来・禁煙外来・甲状腺専門外来・放射線科・栄養サポート外来の予約は、地域医療連携室へご連絡ください。

◆もの忘れ外来の予約は、医療相談室へご連絡ください。

お問い合わせ：総合病院伊達赤十字病院 0142-23-2211(代表)

伊達日赤の縁の下の力持ち

伊達市赤十字奉仕団の皆さんをご紹介します

当院の正面玄関前の花壇を毎年5月、たくさんのお花を植えて整備していただいているのは、伊達市赤十字奉仕団の皆さんです。赤十字奉仕団は、全国ほぼすべての市町村に組織されている赤十字のボランティア・グループです。

伊達市赤十字奉仕団の皆さんは、花の水やりや雑草取りも含めた花壇整備の他にも、災害訓練での傷病者役、赤十字フェスティバルでの多岐にわたるPR活動、各病棟の書棚管理のほかに、病棟で使用するウエス作りもしていただいております。

病棟では、汚れをサッと拭き取るウエスはとても重要です。そこで、伊達市赤十字奉仕団の皆さんは、市民の皆さんから病院に寄せられたタオル、衣類などを約20cm角に切り、ウエスを作っています。

ただ、最近は使って汚れたままのタオルや、吸水性が殆どない化繊の衣類などを持ち込まれる方もいらっしゃるとのこと。当院にウエスの材料として布類を持ち込まれる際は、次の点にご留意ください。

- 吸水性の良い布類（タオル、綿など）、衣類
- クリーニングの必要はありませんが、ご家庭で洗濯したもの
- 平日午前9時から11時まで、正面玄関の「総合受付」にご持参ください



バスタオルを切って、ウエスを作る

ウエスは段ボールに詰めて、病棟に運ばれる



エックス線撮影機器を一新しました

当院では一般撮影装置を約24年使用しており、装置の老朽化により現代の医療現場で期待されている撮影環境を確保することが難しくなっていました。

昨年11月、一般社団法人日本損害保険協会寄附金による令和2年度交通災害等救急医療機器整備事業から総費用の1/3の補助をいただき、一般撮影装置を更新することができました。

これにより、低被ばく・高画質・検査時間の短縮と患者様が安心して検査できるものとなりました。



伊達赤十字病院理念

伊達赤十字病院は赤十字のこころを基に、地域の皆様に信頼される医療を目指します。

基本方針

- 1 患者様の人格、人権を尊重した、患者様の立場に立った医療を目指します。
- 2 医療人として常に自己研鑽し、より高度な医療サービスの提供をいたします。
- 3 病院における医療事故の防止及び医療の安全性の更なる向上を図ります。
- 4 胆振西部地域の中核病院として、医療、保健、福祉との連携を図り、住民の健康と生活を守ります。